

出できるようにしてもらおうと有難いです。特に専門書は値段が高すぎて欲しいが手がでないという学生も多数いると思うので、せめて一ヶ月以内には図書館で利用できるようにしてもらいたいです(数カ月後などでは意味がないと思います)。以前、図書館に購入希望図書用紙なるものがあったので、欲しい専門書をいくつか書いて提出するときに、購入にかかる日数を伺ったことがあるが、4、5カ月近く待たねばならなかったので提出は諦めて無理して自分で購入したのを覚えています。

最後に、徐々にだが名作ビデオや一般歌手のCDが増えていることはうれしいことでもあります。私も最近になって始めて“こんなビデオやCDが”と思ったほどであり、多くの学生がこのようなビデオやCDがあることを知ってほしいのと、さらなるビデオやCDの購入枠を図書館に希望します。

以上、思いつくままを書いてきましたが今後、図書館がさらに改善されて、学生に常に利用される学生のための図書館になる日を待ち望んでおります。

~~~~~

## 書庫内図書のOPAC登録について

OPACとは Online Public Access Catalog の略で、利用者用オンライン蔵書検索システムのことです。

図書館の蔵書約72万冊のうち約38万冊はOPACに登録済みです。1988年4月以降に受け入れた図書と開架図書(中央館では2階、3階にある図書)はすべてOPACで調べることができますが、書庫内の図書(中央館では1階、中2階、4階にある図書)と、教官研究室にある図書についてはOPACでは調べることができない図書もたくさんあります。

図書館では、これらOPAC未登録図書のうち、まず、誰でも利用しやすい書庫内の図書の社会科学関係のものから遡ってOPACに登録(遡及入力)しています。

OPACに登録されていない図書は、図書館のカード目録で書名から調べるしか方法がありませんが、OPACに登録することによって、いつでも、どこからでも、ネットワークにつながったパソコンさえあれば手軽に様々な角度から検索することができます。今のOPACはまだ少し使いにくいところもあるかも知れませんが、今後OPACはますます使いやすいものになっていくと思われます。

数十年にわたって蓄積された図書の目録データの登録は一朝一夕にはいきませんが、毎日少しでもたくさんのデータをOPACに登録しようと遡及入力を進めているところです。

(情報管理係)

## 本学教官著作寄贈図書 (平成9年4月～平成9年8月受付分)

(寄贈順)

| 寄贈者  | 書名              | 発行所        |
|------|-----------------|------------|
| 山崎公士 | 国際人権：知る・調べる・考える | 部落開放研究所    |
| 住野好久 | 学級づくりへの招待       | 香川県生活指導研究会 |
| 岡市友利 | 赤潮の科学 第2版       | 恒星社厚生閣     |

## 図書館日誌 (平成9年6月から平成9年11月まで)

- 6月25日 第44回国立大学図書館協議会総会 (京都市勤業館「みやこめっせ」) 26日まで  
7月1日 平成9年度第2回図書館委員会  
14日 平成9年度大学図書館職員長期研修 (図書館情報大学等) 8月1日まで  
30日 構内美化運動  
8月18日 第2回情報ネットワーク担当職員研修 (学術情報センター等) 22日まで  
9月3日 第38回中国四国地区大学図書館研究集会 (オークラホテル高松) 5日まで  
9日 平成9年度第3回図書館委員会  
10月16日 平成9年度国立大学図書館協議会中国四国地区協議会実務者会議 (香川医科大学)  
17日まで  
21日 学生参考用図書選定小委員会  
22日 構内美化運動  
11月2日 一般公開行事 神原文庫古文書展 9日まで  
4日 〃 講演会  
11日 平成9年度大学図書館職員講習会 (大阪大学歯学部記念会館) 14日まで  
18日 平成9年度第4回図書館委員会  
25日 第10回国立大学図書館協議会シンポジウム (神戸大学) 26日まで

